

辺野古と日本……国土(日本国全体)の **0.6** %の面積しかない沖縄に、日本全土の米軍基地の **7** 割がある」という現実を、沖縄の人たちの嘆きや悲しみへの理解と共感の前に、まず正しく認識する必要があります。しかも、調べてみると、沖縄本島に米軍基地は集中してあるのですが、その米軍関連施設の面積は何と本島の約 **15** パーセントにも当たるといなのです。驚きですね。この事実も併せて知らねばなりません。詳しくは、**沖縄県のHP** を見てみて下さい。そもそも歴史を紐解いていくと、基地が沖縄に集中していった(始めからあったのではないよ)のは、本土の米軍基地とその周辺における騒音公害と犯罪被害によって、反対運動が高まり広まっていった、それに抗しきれなくなった米軍と日本政府が、本土から基地を撤退させていった結果なのです。つまり、戦後しばらくの間、本土にあったものが、随分と沖縄に移設されていった、その割合が今のような極端なものになっていったというわけなのです。

戦時性暴力……今年のノーベル平和賞は、アフリカの **コンゴ** (民主共和国)・中東(主にシリア、主にIS=イスラム国によるもの)の戦地での戦時・性暴力の告発や撲滅に関する活動が評価されたもの。戦時・性暴力とは最も安価な兵器、支配・服従の為の、恐怖を抱かせる兵器。それは。若い女性のみならず、老若男女に対し、とてもここ(学年通信の配布用紙面)には書けないような性的凌辱(=性器そのものへの傷害や生殖能力を直接奪うよう行為)によって恐怖と服従を強い、しかも生殖能力を奪うことで、支配される人々を兵器を使わずに根絶やしにしてしまおうという、恐ろしい「兵器」なのだ。しかしこれ自体とても深刻な問題なのだが、それと同時に問題なのは、このような理不尽で非人道的犯罪的行為が、例えばコンゴでは1990年代後半から20年近くも続いているのに、欧米や日本のメディアでは殆ど報道されてこなかったという事実にある。その点で、今回のノーベル平和賞は、そのような問題を新たに世界に喚起したという点で、大変大きな意味と功績を持っていると言ってよい。

セルロース・ナノ・ファイバー……植物由来の材料(セルロース)による、とっても細い(人間の髪の毛より細い=ナノの単位) 繊維(ファイバー)のこと、板状にも出来る。京都大学宇治研究所で研究と実用化が進められている。これが有効なのは、植物由来であること。そこには次のような有用性がある。1. **石油由来ではない=自然に還っていく**

2. **マイクロ・プラスチック問題*と無縁** *プラスチックが細かく細かくなって行って、海を汚染したり、食物連鎖の中に入っていていずれ人間に害を及ぼしかねないという危険。その危険から回避してくれる有用な素材なのです。繊維を束ねて加工すると、板状にもなるし棒状にもなる、薄い膜にもなる、万能の素材です。後は経済性だけで、是非政府がバックアップしてほしいですね。そして世界に打って出てほしい。原発に代わる新戦略として。

プラスチックによる海洋(資源)汚染が問題となり、それがきっかけで、レジ袋やストローが話題になりました。これにて一件落着ですな。そう、後は採算性だけの問題なのです。安倍首相、これですよ。日本再浮上のきっかけは。

さて、ナノって何？ ナノは 10^{-9} を表し、基礎単位の10億分の1を表します。従って、1ナノmは1mの10億分の1となります。と言っても実感ないっすよね。ではでは、人間の髪の毛が0.1mm~0.06mmだそうです。0.1mmとして、1cmが100分の1mで、1mmがその10分の1だから、即ち10000(1万)分の1mですね。従ってナノ・ファイバーが1ナノmの太さだとしたら、髪の毛の10万分の1以上の細さ、ということになります。途方もない数字ですね。途方もない細さですね。実感湧かなかったすよね。

情報源……ファウエイ事件は、単なる会社幹部の逮捕ではなく、**情報を巡るサイバー空間での米中覇権争い**だったのですね。これを陸海空**宇宙**に続く**第五**の**戦場**と言うのだそうです。さて、私(当紙編集長)の情報源の一つは、次のようなTV番組です。

- ・羽鳥慎一モーニングショー(中の「そもそも総研」=毎週木曜後半はいい。火曜の「ききとり(鳥)」もいいですね。いろんな情報が得られます。)
- ・サンデーモーニング (リベラルで知的なコメントがいいですね。なかなかマスメディアには出ないものが多いです。)
- ・報道特集 (政治・経済・教育・福祉・国際など多岐に亘る分野の問題を取り上げ、記者が丁寧な取材の下に番組を作り上げていく。)
- ・報道 1930 (BSTBS 新番組。これも政・経・教・福祉・国際など多岐に亘る分野の問題を専門家と共に、様々な視点から掘り下げていく。)
- ・田原総一郎の激論クロスファイヤー (主に政経・国際の諸問題を政治家や専門家を招き、ご存じ田原氏が鋭く斬り込んでいく。)
- ・教えてニュースライブ 正義の味方 (新しい形のニュース・ワイドショー。関西ならではのつくり。唯、登場する専門家は一流ばかり、MC 東野氏の進行もホンコン氏の切り込みも小気味よい。中でも J W 中間君の問題把握が的確で素晴らしい。君たちの手本となろう。)
- ・サイエンスゼロ (科学と技術の様々な問題をわかり易く、また興味深く取り上げる。第一線の科学者・技術者が登場するのも魅力。)
- ・ブラタモリ (知的ディレクターの代表格タモリ氏が、NHK若手女性アナと地域のその分野の専門家と共に、地誌学的且科学的にぶらぶら歩く。)
- ・NHK特集 (世界と日本の様々な問題を捉え、多角的に分析する。他国のメディアとも連携し、ならではの鋭い分析を誇る。)

今回、これらの番組をつぶさに紹介したのも、73 期生の君たちの知的好奇心を広げ、また深め、そして身近な社会から日本全体、そして世界への視野を広げ、今起こっている様々な問題への関心を持ってその把握に努め、さらにはそれが自らの将来の進路へとつながれば、との考えから紹介したものです。どうぞ参考にして下さい。これらは皆、知的な世界への入口であり、その深くて面白い世界へと誘(いざな)ってくれるすばらしい「媒体」なのです。